

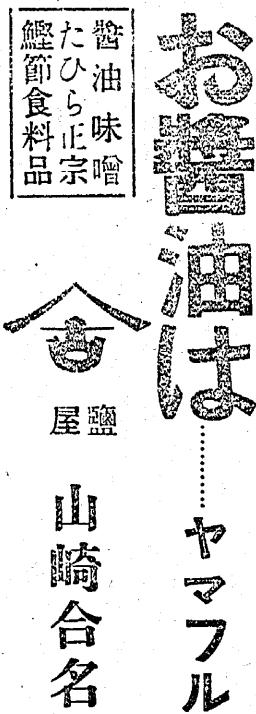


## 澤庵一演け方

(七)

縣農業同窓會

『着色剤』着色剤には染料を用ひる、但し食べて害のない染料を用ひる、染色剤中で最も多く用ひられるのはオーミウ(黄粉)である、用ひ方をあやまるとムラになる少量を用ひると効がない、近頃大坂上で作る植物性の菌粉又はウコンコを用ふる、紙袋人で百六十匁四十錢位で求められる、使ふ場合は漬入根(貰)目に對し、早く使ふ澤庵には八匁、少し長く漬けて色を餘り濃くせぬものは二、三匁でよい、オーランは此の十分の一若しくは一五分の一でよい、四斗樽に對し一匁位で漬かる、水に溶いてがさを多くして用ふる様、ウコンコは漬ける時鹽に混せて用ふる、『漬具樽』押蓋、重石等が必要で樽は何んでもよいが酒樽が一番よい、東京、大阪付近では五月一七月にかけて蓋付一本四十錢一六十錢、酒樽は一本一百五十錢で買ひるが漏らないものであれば何でもよい、土用越し即ち五月から先の檢査は消毒して用ふる、日光消毒はヒスキルから熱湯消毒をするのがよい、早く食べるものには其の必要はない、『押蓋』下までとどくのを小蓋、自家用には大蓋、小蓋の二つを準備した方がよい、『蔬菜』押蓋の隙に用ふるもので大根の葉の黄色部を捨て寄いところのみを残して置いたものを用ふるのである、『重石』岩石、人造石、金屬



明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話一本六九番

本營業部二一〇番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番